**エコマーク商品類型No.167「清掃用資材Version1」付属証明書**

**【分類A. 清掃用薬剤】**

本付属証明書は、エコマーク商品類型No.167分類A.清掃用薬剤のエコマーク使用申込を行う際に、

「[エコマーク商品認定・使用申込書(様式2)](https://www.ecomark.jp/guidance/acquire/download/)※電子申請システムの場合不要」とともに提出して下さい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申込日：２０ | 年 |  | 月 |  | 日 |
| **申込ブランド名** |  | | | | | | |
| **申込者名**  **(会社名)** |  | | | | | | |

|  |
| --- |
| ＜付属証明書の作成方法＞  1．**太枠内の「記入欄」に必要事項を☑または記入して下さい。**  2．「添付証明書」欄には、提出が必要な書類が記載されています。  記入表〇と記載のある添付証明書についてはひな型が付属証明書以降に収録されています。  また、それぞれの書類の発行者は「添付証明書の発行者」欄をご確認下さい。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 記入欄／添付資料　該当する事項をチェックして下さい |
| エコマーク表示（予定）の媒体について  ご記載下さい。  ※原則として容器、取扱説明書、商品説明書  （パンフレットなど）等にエコマークを表示すること | 表示媒体：□容器・包装　／□取扱説明書  □商品説明書(カタログ・リーフレット)　／　□Web  □その他【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】 |
| エコマーク表示予定設計図  ※エコマークの表示方法は「エコマーク使用の手引」  を参照下さい | エコマーク表示予定設計図(書式自由・原稿)をご提出下さい。  ※様式2の｢エコマーク表示見本｣の画像をご活用下さい    ・エコマーク認定番号または使用契約者名の表示（両方を表示することも可） |
| エコマークを表示しない（予定）場合は  その理由を右欄にご記載下さい | 【表示無しの理由】 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 記入欄  該当する□にチェックを入れて下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書の  発行者 |
| 製品を開発した会社 | □他社／□自社  ※他社開発製品の場合は右記証明書をご提出下さい | 記入表0 | 申込承諾者 |
| 他社において既に認定を受けている商品を別ブランドとして申込む場合 | ブランド名以外の変更が　 □ある／□ない  （該当する事項をチェックして下さい）  ※変更がなければ、以下の項目の証明は不要です | エコマーク商品認定審査結果通知書の写しおよび既認定型式と本申込製品の型式との対応表 | 申込者 |

■2.適用範囲

|  |
| --- |
| 記入欄  該当する□にチェックを入れ、（　）欄にご記載下さい |
| 【区分】  □業務用(施設清掃などの業務用途での使用を想定して販売される製品)  □家庭用（主として家庭での使用を想定して販売される製品）　⇒本商品類型の対象外 |
| 【床維持剤】  □水性フロアーポリッシュ・ポリマータイプ（樹脂ワックス）  □その他床維持剤（具体的な用途・品目：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  【業務用洗剤・洗浄剤】  □手洗い用洗剤  □ガラス用洗剤・洗浄剤  □トイレ用洗剤・洗浄剤  □床用洗剤・洗浄剤  □その他洗剤・洗浄剤（具体的な用途・品目：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  【その他薬剤（剥離剤含む）】  □（具体的な用途・品目：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

■4-1．環境に関する基準と証明方法

[4-1-1.省資源と資源循環]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れ、（　）欄にご記載下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書の  発行者 |
| 4-1-1.(1)  容器包装の  環境配慮設計 |  | 無 | ― |
| □容器包装の材質・方法  容器包装の材質：  包装方法：  ［容器包装の環境配慮設計］  □単一の素材である  □ライフサイクルを通じて環境負荷の低い材料を  選択している  □コンパクト化または薄肉化を実施している  □廃棄時につぶしやすい、または折り畳むことが  できる  □道具を用いずに異種材料を分離できるなど、  分離容易な設計となっている  □リサイクルに支障が生じる材料を使用していない  □空になった包装容器の再利用について、  製品ラベル等で励行している  □その他  （具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ※写真や設計書などを用いて補足説明しても  構いません |
| プラスチック製容器包装を用いる場合は、ポリマー骨格にハロゲンを含むプラスチックの使用が  □ない  □ある  □プラスチック製容器包装ではない |

[4-1-2.地球温暖化の防止]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れ、（　）欄にご記載下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書  の発行者 |
| 4-1-2.(2)  薬剤の濃縮  または詰め替え製品 | □希釈使用を前提とする濃縮タイプである  標準希釈倍率（　　　　　　　　　　　）  ※希釈倍率に幅がある場合は、「〇倍～〇倍」とご記載ください。粉末タイプについては、「製品〇gに対して水〇ml」とご記載ください。 | 標準希釈倍率の表記が確認できる本体容器などの該当部分の写真、設計書もしくは説明書類 | 申込者 |
| □希釈使用を前提としない原液タイプである  □本体容器に対応する詰め替え製品が販売  または供給されている  □施設管理者等が施設に設置する容器への  補充使用を前提とした製品である | 製品カタログなど  （例：詰め替え用製品の入手が可能であることの表記が確認できる箇所） | 申込者 |
| □水系の薬剤ではない（本項目は適用しない） | 無 | ― |
| □4-1-4.(12)に適合する持続可能な植物油脂を使用した手洗い用洗剤である  （本項目は適用しない） | 無 | ― |

[4-1-3.有害物質の制限とコントロール]

| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れて下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書  の発行者 |
| --- | --- | --- | --- |
| 4-1-3.(3)  GHS  健康有害性 | 標準使用時の濃度において、表2に示す  GHS分類健康有害性区分・情報コードに  □該当しない／□該当する | ①製品のSDS  ②記入表1  ③記入表2 | 申込者 |
| 標準使用時の濃度において、表3に示す  GHS分類健康有害性区分・情報コードに  □該当しない／□該当する  ※該当する場合は右記添付証明書①～③  に加えて➃もご提出下さい | ➃適切な保護具および保護具着用の励行に関する表記が確認できる本体容器などの該当部分の写真、設計書もしくは説明書類 | 申込者 |
| 4-1-3.(4)  揮発性有機化合物の使用 | 厚生労働省の室内濃度指針値で定められた  表４の揮発性有機化合物を  □使用していない／□使用している | 製品のSDS | 申込者 |
| 4-1-3.(5)  製品に使用する化学物質の把握 | SDS記載が義務付けられる、以下の法規制で指定される化学物質の使用について、  化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)  □使用あり／□使用無し  化学物質名：  労働安全衛生法  　□使用あり／□使用無し  　化学物質名：  毒物及び劇物取締法  　□使用あり／□使用無し  　化学物質名： | 製品のSDS | 申込者 |
| 4-1-3.(6)  有機フッ素化合物の添加 | 化審法の第一種特定化学物質に指定される  表5の有機フッ素化合物を処方構成成分として  □添加していない／□添加している | 無 | ― |
| 4-1-3.(7)  無機リン酸塩  の添加 | 無機リン酸塩を処方構成成分として  □添加していない／□添加している | 無 | ― |
| 4-1-3.(8)  APEOsの  添加 | 界面活性剤としてアルキル基の炭素数が5～9のアルキルフェノールエトキシレート(APEOs)を  処方構成成分として  □添加していない／□添加している | 無 | ― |
| □床維持剤である(本項目は適用しない) |
| 4-1-3.(9)  剝離廃液の  適正処理 | □床維持剤および剥離剤は、本体容器などに、  剥離廃液を産業廃棄物として処理しなければ  ならないことを記載している  ※該当する場合は右記添付証明書をご提出下さい  □床維持剤および剝離剤ではない（本項目は適用しない） | 剥離廃液を産業廃棄物として処理しなければならないことの表記が確認できる本体容器などの該当部分の写真、設計書もしくは説明書類 | 申込者 |
| 4-1-3.(10)  取り扱いに関する情報提供 | 本体容器などに薬剤の取り扱いに関する  下記の情報提供を全て行っている  　□適切な使用方法  　□標準使用量  　□適切な廃棄方法 | それぞれの項目の表記が確認できる本体容器などの該当部分の写真、設計書もしくは説明書類 | 申込者 |
| 4-1-3.(11)  最終製造工場環境法規順守 |  | 記入表3 | 最終製造工場  (工場長) |

[4-1-4.生物多様性の保全]

| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れて下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書  の発行者 |
| --- | --- | --- | --- |
| 4-1-4.(12)  植物油脂原料の持続可能性 | □持続可能な原料を使用した手洗い用洗剤  であり、下記のいずれかに適合する  □RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)などの持続可能性を評価した認証を  取得した原料を使用している  →①を提出  □別表1を包含した内容で原料に係る持続可能な調達方針を作成した上で、当該方針に基づき調達を行っている  →②-1～3を全て提出  □別表1に適合する原料を使用している  →③-1～2を全て提出  □植物油脂を原料に使用した手洗い用洗剤ではない(本項目は適用しない) | ①RSPO等認証証の  写し | 申込者 |
| ②-1.  原料に係る持続可能な調達方針  ②-2.  上記方針に基づいて調達していることを　示す資料  ②-3.  植物油脂の素性(栽培地および一連の製造工程のフロー図)を　示した資料 | 申込者 |
| ③-1.  記入表4  ③-2.  植物油脂の素性(栽培地および一連の製造工程のフロー図)を　示した資料 | 申込者、 精油事業者  など |
| 4-1-4.(13)  GHS  環境有害性 | □業務用洗剤・洗浄剤  □その他薬剤（剝離剤を除く）  ※上記いずれかに該当する場合は  右記添付証明書①～③をご提出下さい  水性毒性(急性)が区分1に  □該当する／□該当しない  ※該当する場合は下記いずれか1つを満たすこと | ①.製品のSDS  ②.記入表1  ③.記入表2 | 申込者 |
| □生分解度が表7のいずれかの試験方法によるパスレベルを満たす  →➃-1を提出 | ➃.-1  生分解度試験結果 | 第三者  試験機関など |
| □(BOD5/COD)比が0.5以上となる  →➃-2を提出 | ➃-2  製品のSDS | 申込者 |
| □生物蓄積性が表8のいずれかの試験方法によるパスレベルを満たす  →➃-3を提出  □床維持剤または剝離剤（本項目は適用しない） | ➃-3  生物蓄積性試験結果 | 第三者  試験機関 |

■4-2.品質に関する基準と証明方法

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れて下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書  の発行者 |
| 4-2.(14)  製品の  品質規格 | JISなどの該当する品質規格が  □ある（名称：　　　　　　　　　　　　　　）  □ない（自社規格） | 該当する品質規格に適合していることの　証明書 | 申込者または 第三者試験機関 |

■5.配慮事項

認定の要件ではないが、以下に配慮することが望ましい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れて下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書  の発行者 |
| 5.(1)  適切な  水素イオン  濃度 | 標準使用時の濃度における水素イオン濃度が  pH5～pH9である  　□はい（ｐH：　　　　）  　□いいえ | 無 | ― |